

コロナ下におけるお財布事情アンケート調査結果

2021.4 愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査方法】 Webによるアンケート調査（調査会社を通じてサンプルを収集）

【回答件数】 836件

【調査対象者】 愛媛県内在住の男女

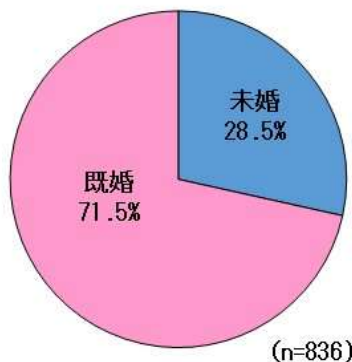
【実施期間】 2021年2月22日～3月7日

回答者の属性

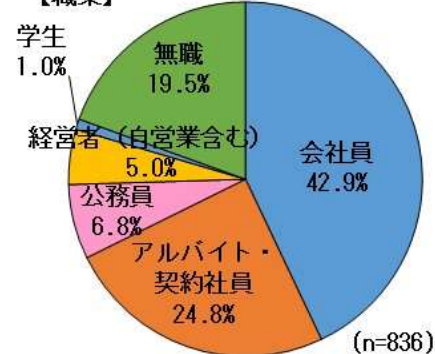
【性別】 回答しない



【未既婚別】



【職業】



【年代】 10代

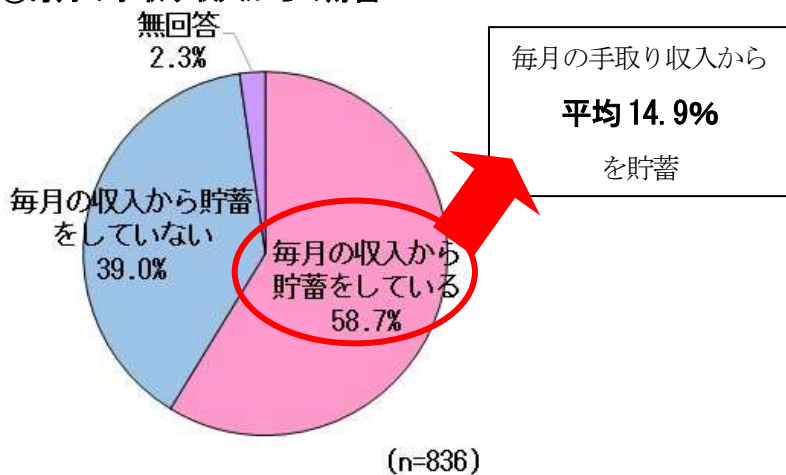


※各項目の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

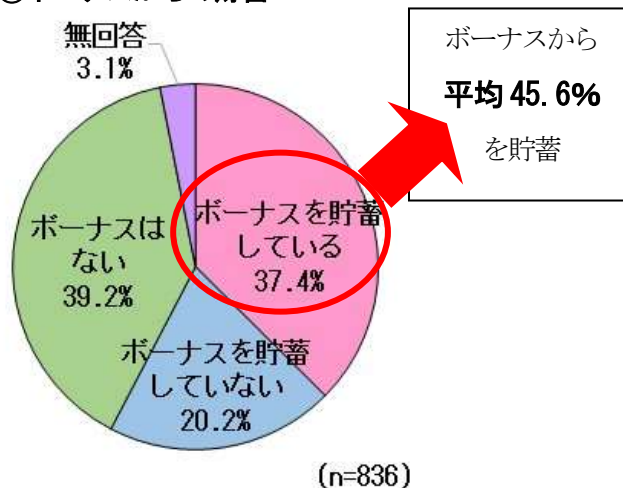
① 1か月の平均収入（世帯合計）

全体 平均 32万円

② 毎月の手取り収入からの貯蓄



③ ボーナスからの貯蓄



④ 現在の貯蓄金額（世帯合計）

全体 平均 683万5,000円

1年前と比べて貯蓄額が「増えた」 24.4%

「変化なし」 34.2%

「減った」 39.2%

【増加理由】（複数回答）

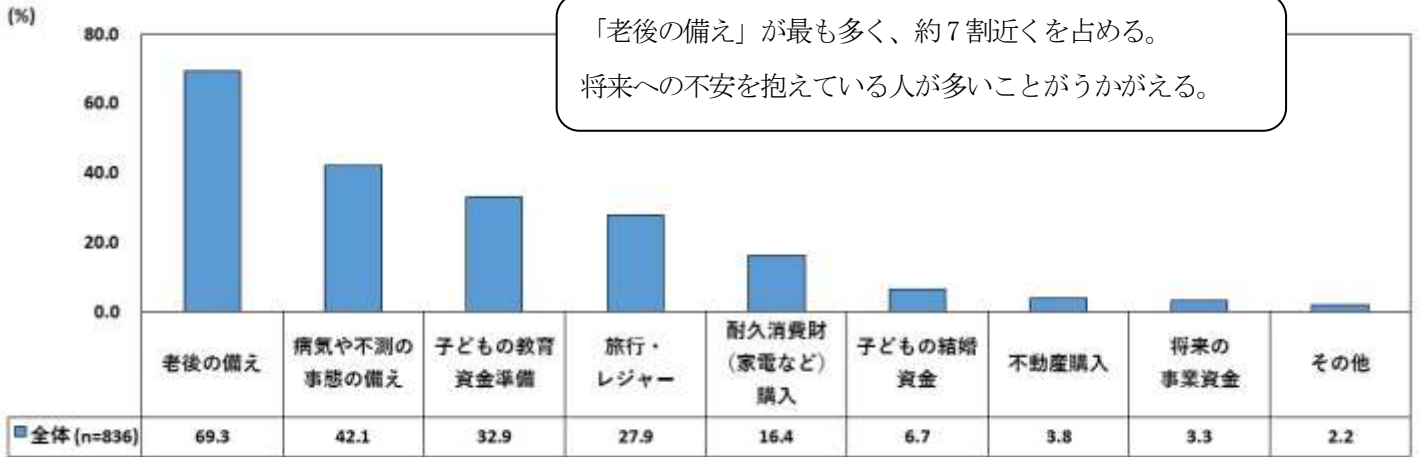
- ① 「儉約・節約による貯蓄額の増加」 44.6%
- ② 「定期的な貯蓄」 41.7%
- ③ 「給与収入の増加」 24.5%

【減少理由】（複数回答）

- ① 「給与収入の減少」 51.5%
- ② 「生活費の増加」 49.7%
- ③ 「子どもの教育費」 23.5%

貯蓄額が1年前と比べて「減った」人が最も多く、約4割近くを占める。貯蓄額が「減った」理由は「給与収入の減少」、「生活費の増加」がそれぞれ約半数を占めており、コロナの影響が垣間見える。

⑤貯蓄の目的（複数回答）

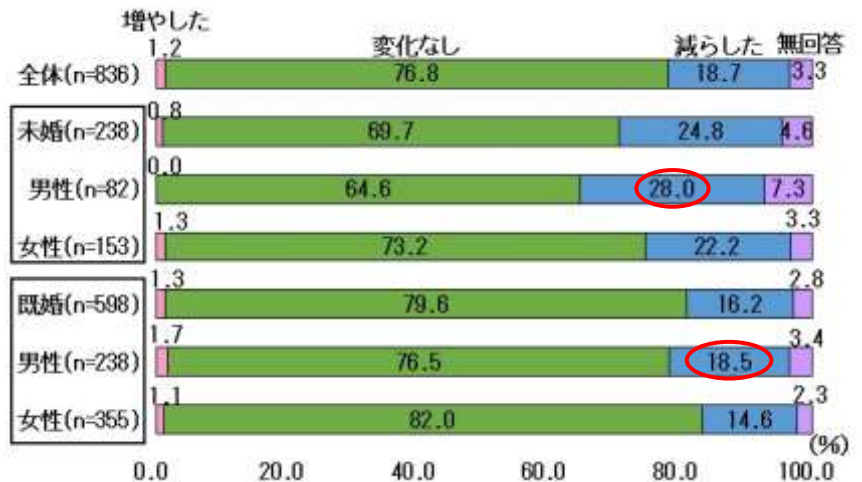


⑥毎月の平均お小遣い額

全体	2万4,000円	
未婚	全体	3万1,000円
	男性	3万9,000円
	女性	2万7,000円
既婚	全体	2万1,000円
	男性	2万7,000円
	女性	1万7,000円

未婚者 (3.1万円) と既婚者 (2.1万円) のお小遣額の差は1万円。

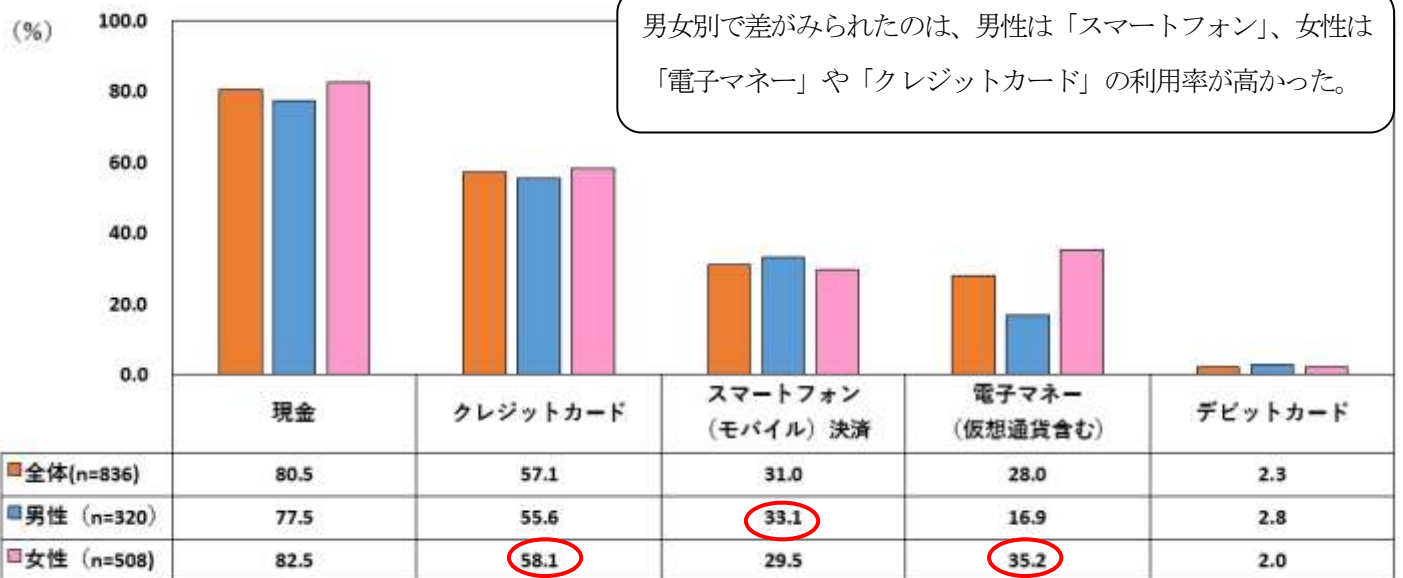
⑦コロナの影響によるお小遣い額の変化



※未婚：性別無回答(n=3)、既婚：性別無回答 (n=5)

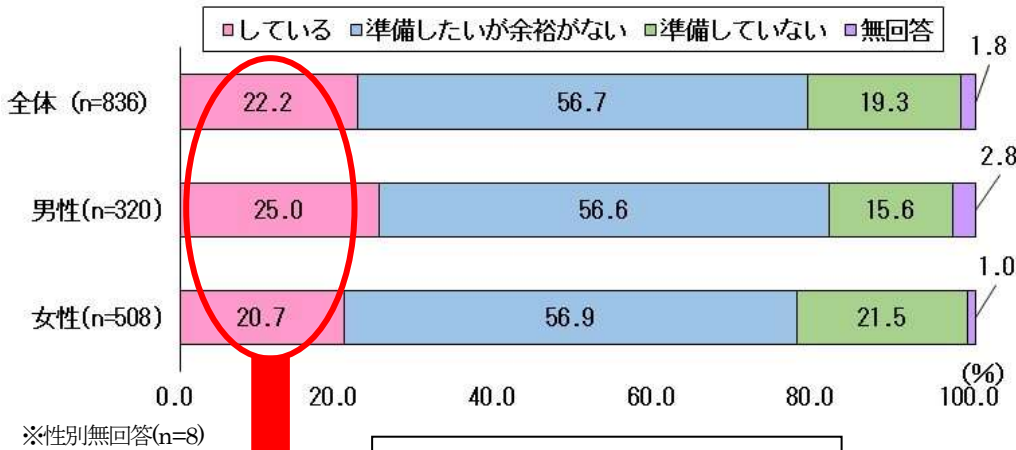
コロナの影響により、お小遣い額を「減らした」人は全体で約2割程度。「減らした」人は、未既婚の男女別では、未婚・既婚ともに男性（未婚男性 28.0%）、既婚男性（18.5%）の方が多し。収入の減少や生活費の増加だけでなく、コロナによる飲み会の自粛なども影響していると考えられる。

⑧日頃の買い物などで利用している決済手段（複数回答）



※性別無回答(n=8)

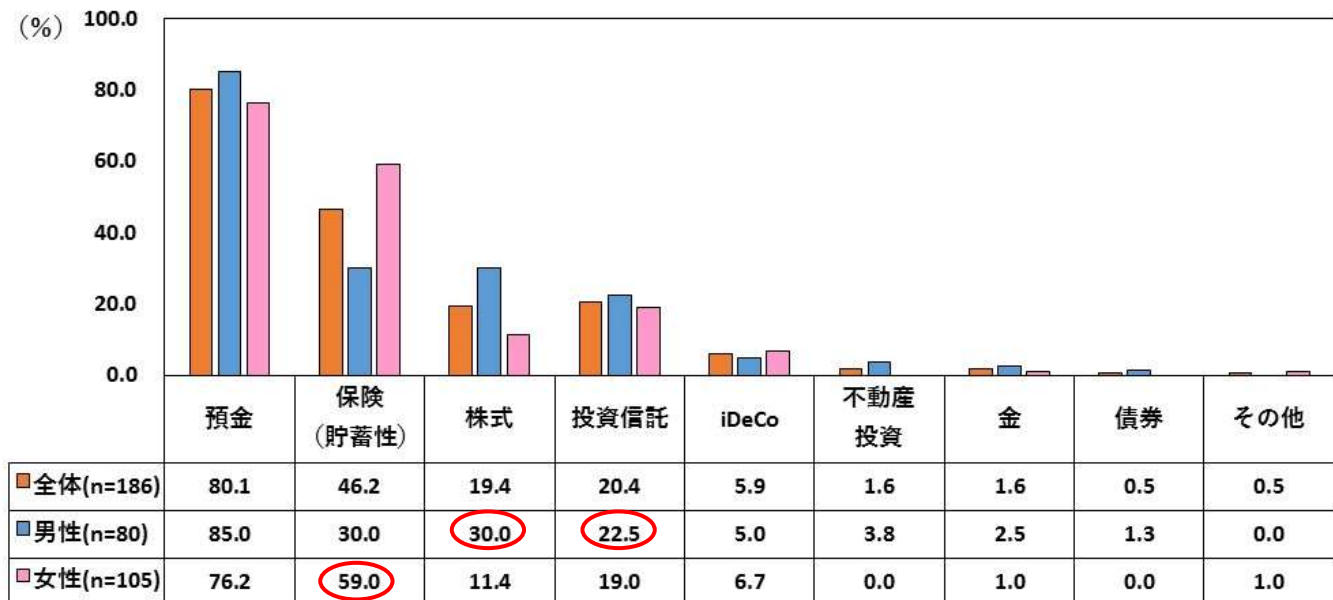
⑨老後の生活資金準備



老後の生活資金を「準備したいが余裕がない」人が最も多く、半数以上を占めている。
老後の生活資金への不安を抱えつつも、思うような準備ができていると思っている人は少ないようだ。

準備金額 全体平均 1,097.8万円

⑩老後の生活資金の準備方法 (複数回答)



※性別無回答(n=1)

老後の生活資金を「準備している」人は、約2割程度。

準備方法としては全体で「預金」が最も多く、8割を占める。

男女別でみると、「株式」や「投資信託」などの運用で増やすのは男性の方が多く、保険(貯蓄性)で手堅く準備するのは女性の方が多い傾向がある。

【まとめ】

- ・毎月の収入やボーナスから貯蓄を定期的に行っている人は多いものの、収入の減少や生活費の増加で、貯蓄を取り崩している人もおり、コロナの影響が垣間見える結果となった。
- ・老後への不安から「老後の備え」に対する貯蓄意識が高いものの、思うように老後の生活資金を準備することができていない人が多い。
- ・コロナの影響によりお小遣いを減らした人は約2割。収入の減少や生活費の増加だけでなく、外出自粛や飲み会自粛なども影響していると思われる。